

- 今できること - 目撃情報をお寄せください!

シカによる被害を未然に防ぐには、シカが増え過ぎてしまう前に対策をとり、適切な個体数に抑える必要があります。そのためには、今どのくらい、どこに生息しているのか知る必要があります。青森県や秋田県のような現状がわかっていない地域では、地域の皆様からの目撃情報がとても重要な情報となります。

目撃情報の提供先

県のホームページから「ニホンジカ目撃情報調査票」をダウンロードの上、記入いただきFAXまたはメールでお送りください。インターネット環境がない場合はお電話でご連絡ください。

◆ 青森県で目撃された方

青森県 自然保護課

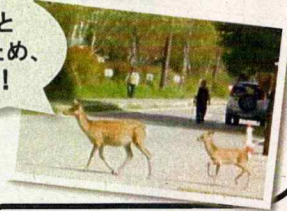
- ・ TEL : 017-722-1111 (内線6506)
- ・ FAX : 017-734-8072
- ・ E-mail : shizen@pref.aomori.lg.jp

◆ 秋田県で目撃された方

秋田県 自然保護課

- ・ TEL : 018-860-1613
- ・ FAX : 018-860-3835
- ・ E-mail : shizenhogoka@pref.akita.lg.jp

写真があると
確認ができるため、
助かります!



ニホンジカってこんな動物!

お尻にハート形の白い
尻斑があるのが特徴!



冬毛(10~4月)
灰褐色になる



夏毛(5~9月)
茶色で白い斑点がある

特徴

- ・ 体の大きさ(肩高: つま先~肩まで)は60~130cm
- ・ オスにだけ角があり、毎年生えかわる
- ・ 繁殖期(9月~11月)以外は群れで行動する
- ・ オスは繁殖期に「フィーヨー」と大きな声で鳴く
- ・ 森林や草原に住み、ほとんどの植物の葉や樹皮、根や果実も食べる



野菜、稲、果物…
植物はほとんど食べます!



ダイコン



リンゴの木



稲

山菜も食べられてしまいます

カモシカとは違う動物です

青森県、秋田県には従来から「ニホンカモシカ」が生息しています。ニホンカモシカはウシの仲間、ニホンジカはシカの仲間異なる動物です。



ニホンカモシカ

特徴

- ・ 「アオシシ」と呼ばれている
- ・ 体の色は灰褐色
- ・ オスもメスも黒く短い角をもつ
- ・ 体の大きさ(肩高)は70~75cm

シカはなぜ増えているの?

本州以南に生息しているシカの数261万頭と推定されており、生息域は25年間で1.7倍に拡大しています。

強い繁殖力

シカは繁殖力が強く、栄養条件が良ければ毎年1頭の子どもを産みます。捕獲しないと4~5年で2倍の数に増えてしまいます。

ハンターの減少

シカを捕獲するハンターの高齢化が進み、少なくなりました。シカの増加を抑えるだけの捕獲ができていません。

積雪量の減少

エサが埋まったり、歩きにくかったりするので、シカは雪の多いところが苦手です。近年積雪量の減少によって、冬場でもシカの住める場所が増えています。

このほかにも、森を切り開いて草地にしたり、人が里地里山を利用しなくなったことで、シカの餌や住みやすい場所が増えたことが考えられます。

ニホンジカがいたらダメなの?

- ◆ シカは繁殖力が強く群れで行動し、たくさんのエサを食べることから、単独で行動するカモシカと比べると被害や影響が大きくなります。
- ◆ 青森、秋田にも江戸時代まではシカが生息していました。しかし現在は、昔と比べて、シカが増えやすく減りにくい状況に変わっています。このため、シカが一度定着するとあっという間に、被害が甚大になるまで増えてしまいます。こうなると、大量に増えすぎたシカを大量に殺すしか被害を減らす方法がなくなります。人もシカも不幸な状況です。シカはいてはいけいけいではなく、増えすぎてしまうことが問題です。しかし、シカが一度定着してから、増えすぎないようにすることはとても難しいのです。